

経営協議会議事要旨

1. 日時 令和4年3月15日（火）13:28～15:15
2. 場所 創立50周年記念会館2階「岩木ホール」及びオンラインの併用
3. 出席者 福田（学長・議長）
今井，岡井，永澤，九戸，木村，三國谷，稲庭
吉澤，渡邊，郡，若林，石川，大山，安川の各委員15名
- 欠席者 青山，櫛引の各委員2名
- 陪席者 山内監事，吉田監事，柏倉学長特別補佐，杉原国際連携本部長，加藤法人内部監査室長
- 事務部陪席 太田参事役（病院再開発担当），阿部総務部長，飯田財務部長，高橋学務部長，森屋施設環境部長，齊藤研究推進部長（兼）社会連携部長，村市医学部附属病院事務部長，古舘総務企画課長，金沢広報・情報戦略課長，後藤人事課長，浅利財務企画課長，佐藤財務管理課長，齋藤契約課長，窪施設企画課長

4. 配付資料

- 資料1【事前配付】令和4年度 弘前大学予算実施計画（案）
- 資料2【当日配付】国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正について
- 資料3【事前配付】弘前大学学則の一部改正について
- 資料4【事前配付】公益通報者保護法の改正に伴う学内規則等の整備について
- 資料5【当日配付】弘前大学の最近における新型コロナウイルスへの対応状況
- 資料6【当日配付】今後の課題等について
- 資料7【当日配付】令和4年4月1日弘前大学役員等一覧

5. 議事

- ・ 議長から，1月18日開催の議事要旨（案）の確認が行われ，原案のとおり承認された。

○審議事項

審議1 令和4年度 弘前大学予算実施計画（案）について

渡邊総務担当理事から，資料1に基づき，令和4年度 弘前大学予算実施計画（案）について説明があり，審議の結果，原案のとおり了承された。

審議2 国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正について

渡邊総務担当理事から，資料2に基づき，国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正について説明があり，審議の結果，原案のとおり了承された。

審議3 弘前大学学則の一部改正について

吉澤企画担当理事から，資料3に基づき，医学部医学科の入学定員及び収容定員に係る弘前大学学則の一部改正について説明があり，審議の結果，原案のとおり了承された。

審議4 公益通報者保護法の改正に伴う学内規則等の整備について

渡邊総務担当理事から、資料4に基づき、公益通報者保護法の改正に伴う学内規則等の整備について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

○報告事項

報告1 弘前大学における新型コロナウイルスへの対応について

渡邊総務担当理事から、資料5に基づき、本学の最近における新型コロナウイルスへの対応について報告があった。

報告2 今後の課題等について

学長、各理事及び大山附属病院長から、資料6に基づき、今後の課題等について説明があった。

報告3 その他（令和4年度の体制について）

学長から、資料7に基づき、令和4年度の体制について説明があり、その後退任する委員の紹介及び挨拶があった。

○質疑応答（□：学外委員 ○：学内委員）

1 公益通報者保護法の改正に伴う学内規則等の整備について

- 窓口を外部に置くケースもあると思うが、そういった対応についてどうお考えになるかご意見を伺いたい。
- 公益通報に関しては、法人内部監査室長と総務部総務企画課長を窓口としているが、ハラスメントに関しては、内部に相談員を置くとともに外部にも窓口を設けて相談しやすい体制を整えている。

2 今後の課題等について

- 志願者が増えた要因は何か。
- 昨年度はコロナの影響で減ってしまった北海道地区や東北地区及び青森県内の受験者が例年並みになったこと、仙台試験場を設置したこと、広報活動に力を入れたこと等様々な取り組みの相乗効果によるものと考えるが、詳細は今後検証する予定である。

- 病棟整備計画について、病床数は増えるのか。
- 現在の第一病棟がそのまま引っ越す形になるので増床はない。

- コロナ、ロシアのウクライナ侵攻などが起きているが、弘前大学の学術交流・人的交流に影響はあるか。
- ロシアの協定校から4月に渡航する予定でオンライン授業を受けている学生がいるが、財源的なことや渡航の手段がないことから難しいと考えている。

- 青森県内は医師不足が深刻であるが、青森県内出身者の合格者を増やす方法はないものか。
- 医学部医学科における青森県内出身者の割合は近隣の大学と比べても低くはない状況である。

- 卒業生の青森県内への就職はどのくらいか。
- 3割が青森県内、7割が県外へ就職予定である。

- 地域との連携による人材育成について、起業する学生を作り出すことは大賛成であるが、そのためにこれまで起業した方々が具体的にどうやったのかということとを講演してもらうなど、人材育成を具体的に進めてほしい。
- 様々な団体と連携しながら努力を続けていきたいと考えている。

- 附属病院における弘前保健所への支援に関して、電話診療や薬剤師会との協力による薬の配達等とても感謝している。
- COI-NEXT 事業の採択に期待している。
- コロナ、ロシアのウクライナ侵攻など日本中が緊迫した状態にある中、大学には大所高所から見ていただき、県とも協力して、全体として考えていていただきたいと思う。

- 貴重なご意見をいただきありがとうございます。来年度の運営に生かしていきたいと思えます。

以上